

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

1993年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

## 序

京都大学構内には、吉田キャンパスのほぼ全域や和歌山県白浜町の理学部附属瀬戸臨海実験所構内をはじめとする各地の附属施設内にも、先史時代から近世に至る長い歴史を刻んだ埋蔵文化財が多数存在している。京都市が作成した遺跡地図によると、現在吉田キャンパスに限っても、附属病院構内の西端の一部を除くほぼ全域が、調査を必要とする周知の遺跡として登録されている。

埋蔵文化財研究センターは、建物や施設の建設にあたってこうした埋蔵文化財の調査を実施し、その面積は昭和52年に設置されて以後45,000 m<sup>2</sup>を越えている。また遺跡の内容は、それらの調査報告書によって、広く認識されるようになったと考えている。

この報告は1993年度におこなった発掘調査の成果をまとめたものである。この数年は、補正予算の執行にともなう校舎建設計画によって発掘調査が急増し、資料整理はそれと並行しておこなう状態が続いた。各章の報告はこうした中で、吉田キャンパスを含む北白川一帯に残る先史時代から近世にわたる従来の調査による成果に、新たな資料を加えてその歴史的環境の復原を試みたものである。また各調査には各研究分野から多くのご協力をいただいた。とくに第3章の噴砂については理学部地質学鉱物学教室鎮西清高教授と地球物理学教室岡田篤正教授から、第4章の土壌中のリン分析については農学部地域環境科学教室小崎隆教授と矢内純太助手から、また石器の石材の分析については原子炉実験所薬科哲男助手からそれぞれ分析と詳細な知見をいただいた。ご高評をお願いしたい。

おわりに、これらの調査では、学内学外の多くの関係者および関係機関からご協力をいただいた。とりわけ、工学部、理学部、文学部、施設部の関係者各位に対して、お礼を申し上げる次第である。

1997年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

山 中 一 郎

## 例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で1993年4月1日から1994年3月31日までに発掘、整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺 50 m の方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系 ( $x = -108,000$ ,  $y = -20,000$ ) が ( $X = 2,000$ ,  $Y = 2,000$ ) となる京都大学構内座標によって表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良国立文化財研究所の方式にしたがって、井戸 : SE, 土坑 : SK のように表示し、各調査ごとに通し番号を 1 から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を 1 から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通して表示を統一した。  
Ⅰ : 京都大学本部構内 AU30・AV30 区の発掘調査  
Ⅱ : 京都大学北部構内 BB28 区の発掘調査  
Ⅲ : 京都大学本部構内 AW25 区の発掘調査  
(例 Ⅰ 1 : 京都大学本部構内 AU30・AV30 区出土遺物 1 番)
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺 1/4, 遺物の写真は約 1/2 に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に、[著者名 発表年] の形式で表わし、第 4 章末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合に限り『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』(1981年)に従った。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影はそれぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、古賀秀策が担当し、清水芳裕、五十川伸矢、千葉 豊、伊藤淳史、富井 眞、磯谷敦子、中田敬子、柴垣理恵子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 1993年度

目 次

第1章	1993年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1	調査の経過	1
2	調査の成果	1
第2章	京都大学本部構内 AU30区・AV30 区の発掘調査	3
1	調査の概要	3
2	層 位	6
3	縄文・弥生時代の遺跡	7
4	古代の遺跡	16
5	中世の遺跡	18
6	近世の遺跡	30
7	小 結	34
第3章	京都大学北部構内 BB28 区の発掘調査	41
1	調査の概要	41
2	層 位	41
3	遺 構	43
4	遺 物	47
5	小 結	51
第4章	京都大学本部構内 AW25 区の発掘調査	53
1	調査の経過	53
2	層 位	54
3	縄文時代の遺跡	56
4	古代・中世の遺跡	64
5	近世・近代の遺跡	83
6	土坑 SK1・SK2 の土壌分析	85
7	石器石材の産地分析	86
8	小 結	88

参 考 文 献	93
京都大学構内遺跡調査要項	97
報 告 書 抄 録	104

## 図 版 目 次

図版 1	京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点	
図版 2	京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区	
	1 北調査区完掘後全景 (南から)	2 北調査区 SX4 (北から)
	3 北調査区溝 SD5 (西から)	
図版 3	京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区	
	1 北調査区不定形土坑完掘状況 (西から)	
	2 北調査区不定形土坑 SX2 南北断面 (東から)	
図版 4	京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区	
	1 南調査区古代・中世遺構検出全景 (南から)	
	2 南調査区流路 SR1・SR2 内黄色砂除去後全景 (南から)	
図版 5	京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区	
	1 南調査区流路 SR1 (北から)	
	2 流路 SR1 黒褐色土層遺物出土状況 (西から)	
	3 南調査区集石 SX11 (東から)	
	4 南調査区土器溜 SX14 (南から)	
	5 南調査区土坑 SK28 (西から)	
	6 南調査区集石 SX12 (南から)	
図版 6	京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区	
	1 SR1 黒褐色土層出土遺物(1)	2 SR1 黒褐色土層出土遺物(2)
図版 7	京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区	
	1 SR1 黒褐色土層出土遺物(3)	2 SR1 黒褐色土層出土遺物(4)

- 図版 8 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
SR1 黒褐色土層出土遺物(5)
- 図版 9 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
SR1 黒褐色土層出土遺物(6)
- 図版10 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
1 SR1 黒褐色土層出土土器の調整痕細部  
2 石 器
- 図版11 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
1 古代の遺物 2 SX6 出土遺物
- 図版12 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
SX2 出土遺物, SX13 出土遺物, SX14 出土遺物,  
SX16 出土遺物, SX19 出土遺物
- 図版13 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
SK39 出土遺物, SK48 出土遺物, SD5 出土遺物, SD3 出土遺物,  
SD14 出土遺物, SD19 出土遺物, 茶褐色土出土遺物
- 図版14 京都大学本部構内 AU30 区・AV30 区  
SD2 出土遺物, SE2 出土遺物, SX5 出土遺物,  
SD1 出土遺物, 灰褐色土出土遺物
- 図版15 京都大学北部構内 BB28 区  
1 調査区西半 古代遺構完掘状況(北から)  
2 土坑 SK22(南西から)
- 図版16 京都大学北部構内 BB28 区  
1 粘土敷き土坑 2 集石土坑 SK10(東から)  
3 地震による堆積層の乱れ
- 図版17 京都大学北部構内 BB28 区  
黒褐色土出土遺物, 茶褐色土下層出土遺物,  
茶褐色土上層出土遺物, 灰褐色土出土遺物
- 図版18 京都大学北部構内 BB28 区  
1 黄色砂下面出土遺物, 茶褐色土下層出土遺物, 黒褐色土出土遺物  
2 SK10 出土遺物, 茶褐色土上層出土遺物, 灰褐色土出土遺物



# 挿 図 目 次

<b>本部構内 AU30 区・AV30 区の発掘調査</b>	
図 1	各調査区の遺構と 南北方向の層位…………… 4
図 2	東西方向の層位…………… 5
図 3	流路内黒褐色土層上面の 地形と主要遺物の分布…………… 7
図 4	SR1 黒褐色土層出土遺物(1)……………10
図 5	SR1 黒褐色土層出土遺物(2)……………11
図 6	SR1 黒褐色土層出土遺物(3)……………12
図 7	SR1 黒褐色土層出土遺物(4)……………13
図 8	SR1 黒褐色土層出土遺物(5)……………14
図 9	石 器……………15
図10	古代の遺物……………17
図11	集石 SX11……………21
図12	SX1・SX9・SX2・SX6・ SX7・SX8 出土遺物……………24
図13	SX13・SX14・SX15・SX16・ SX17・SX19 出土遺物……………25
図14	SX11・SK29・SK39・SK48・ SK19・SK32 出土遺物……………26
図15	SD3・SD5・SD14・ SD19・茶褐色土出土遺物……………27
図16	軒丸瓦・軒平瓦……………28
図17	鉄 製 品……………29
図18	SD2・SE2 出土遺物……………31
図19	SE8・SX5・SE7・ SD1・灰褐色土出土遺物……………32
図20	SX12・SD1 出土遺物……………33
図21	本部構内東半の 主要な古代～中世遺構……………37
図22	近世吉田村の復原図と 調査区の位置……………39
<b>北部構内 BB28 区の発掘調査</b>	
図23	調査区の層位……………42
図24	黄色砂下面出土縄文土器……………43
図25	古代の遺構……………44
図26	中世の遺構……………44
図27	近世の遺構……………45
図28	粘土敷き土坑……………45
図29	SD36・SD38・SD37・ SK22・黒褐色土出土遺物……………47
図30	茶褐色土下層・SK10・ 茶褐色土上層出土遺物……………49
図31	灰褐色土 I・II 出土遺物……………50
図32	調査区周辺の 弥生時代前期の地形……………51
<b>本部構内 AW25 区の発掘調査</b>	
図33	調査区東壁・北壁の層位……………55
図34	縄文土器地区別出土状況……………56
図35	暗褐色土 II 出土縄文土器(1)……………57
図36	暗褐色土 II 出土縄文土器(2)……………59
図37	暗褐色土 I 出土縄文土器(1)……………60
図38	暗褐色土 I 出土縄文土器(2)……………61
図39	黄色砂・茶褐色土・SK4・ SX1・SE1 出土縄文土器……………61
図40	石 器……………63
図41	古代・中世の遺構……………64

図42	土坑 SK1・SK2	65	図51	軒平瓦	77
図43	土坑 SK3・SK5	66	図52	丸瓦	79
図44	SX1・SK8 出土遺物	67	図53	平瓦, 道具瓦	80
図45	SE1・SX1 出土鉄器	68	図54	平瓦	81
図46	SE1 出土遺物(1)	70	図55	籠記号	82
図47	SE1 出土遺物(2)	71	図56	近世・近代の遺構	83
図48	SE1 出土遺物(3)	73	図57	灰褐色土出土遺物	84
図49	SE1 出土遺物(4)	74	図58	地図にみえる寄宿舎	84
図50	軒丸瓦	75	図59	試料の採取位置	85

## 表目次

表1	SE1 出土土器計測結果	69	表4	サヌカイト製遺物の 元素比分析結果	87
表2	瓦類の出土地点	82	表5	縄文土器の種類別点数	88
表3	全炭素・全窒素・全リン 分析結果	85	表6	京都大学構内遺跡のおもな調査 結果	97

1997年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報  
1993年度

編集 京都大学埋蔵文化財研究センター  
発行 京都市左京区吉田本町  
印刷 山代印刷株式会社  
製本 京都市上京区寺之内小川西入

正 誤 表

京都大学構内遺跡調査研究年報 1993年度

頁	行	誤	正
v	29	茶褐色土下層出土遺物, 黒褐色土出土遺物	<u>SD36出土遺物, SD37出土遺物, SK22出土遺物, 黒褐色土出土遺物, 茶褐色土下層出土遺物</u>
vi	6	集石SK7	集石SX7
29	図17 ネ-A	I 241 SD5	<u>I 239 SX9, I 241 SD5</u>
図版25	ネ-A	Ⅲ134・Ⅲ136須恵器	<u>Ⅲ134・Ⅲ136須恵器, Ⅲ139灰釉陶器, Ⅲ140土師器</u>